

2011 年度報告書（研究員）

氏 名	柳原剛司
職 位	グローバル COE 研究員（短時間勤務）
<p>研究概要</p> <p>本年度は、これまでの研究の取りまとめと、新たな研究領域への挑戦との、大別して 2 つの方向性で研究を進めた。前者の取り組みとして、博士論文をベースに加筆・修正を行い、単著『体制転換と社会保障制度の再編』として京都大学学術出版会から 2011 年 6 月末に刊行した。博士論文では欠落していた高齢者の所得保障問題を論ずる 1 章も加え、ハンガリーにおける社会保障制度の変容をより包括的に捉えることを目指した。</p> <p>夏以降は、新たな研究課題として、「雇用政策と社会的保護・社会的包摂政策の側面から、近年のハンガリーにおける福祉レジームの変化を明らかにする」という課題に取り組んだ。残念ながら実地での調査等は実施できなかったが、制度の変更や政府による諸プログラムの分析、統計・調査データからの二次的な分析により、ハンガリーにおいても EU 加盟達成後の 2005 年ごろより、他の多くの EU 加盟国と同様の「福祉から就労へ」と言えるような傾向が見られることを明らかにできた。また、本研究にあたっては、欧州各国の社会政策・社会保障の動向をそれぞれ専門とする研究者との活発な議論の機会を定期的に得ることができ、人脈の形成にもつながった。</p> <p>この新たな課題の成果は、社会政策学会の自由論題報告として発表した。さらに修正・加筆の上、福原宏幸氏・中村健吾氏（ともに大阪市立大学）共編『欧州福祉モデルの 21 世紀：活性化と社会的包摂』（仮題）に収録される論文として、すでに完成稿を提出済みである。</p>	
<p>業績リスト（著書、論文、報告、その他に分けて主要なものを記入する）</p> <p>著書</p> <p>柳原剛司『体制転換と社会保障制度の再編：ハンガリーの年金制度改革』京都大学学術出版会、2011 年 6 月</p> <p>論文</p> <p>柳原剛司「EU 新規加盟国の雇用政策の変容：ハンガリー」、福原宏幸・中村健吾編著『欧州福祉モデルの 21 世紀（仮）』昭和堂、2012 年刊行予定</p> <p>学会報告</p> <p>柳原剛司「ハンガリーの福祉レジームの変容：雇用・社会的保護政策の動向から」社会政策学会、2011 年 10 月 8 日（於：京都大学）</p>	

